

【市内中学校の部 奨励賞】

無限の存在

鳥羽市立答志中学校 一年

山下 早羅

虹はつなぐ

私達の住むこの島とこの島からは

見えない遠い遠い別の島を

この虹の橋を渡った先で

誰がこの虹を見るのだろう

空は問う

答えの分からない疑問を次々と

そして私はその疑問に我武者羅に答える

でも答えは分からない

そしてその答えが分かる日はきっと来ない

それでも私は答えを探していたい

山は包む

私の不安な気持ちを優しく包み込む

そのたびに私の気持ちは和らぐ

そして思う

きっとあの大きな山は

私を支えてくれているのだと

そしてまた思う

この山に私は何を返そうかと

海は無限だ

ほし

この広い広い地球のなかでこの島と
どこかの遠い遠い島をつなげ

私に何かを問いかけ

見えないところで私を支えてくれる

反射するあの光の渦に巻き込まれる程に

どこまでも続く広く深くそして大きい

海の存在は無限だ